

名作再読

—いま読んだらこんなに面白い 12

宮 紀子

「鷺の巣」からアガサ・クリステイを眺めると

籠谷直人

明暦日本の物産—木綿に注目して—
大文字屋治右衛門(松江重頼)編『毛吹草』を読む

岡村秀典

探検大学のパイオニアたち
長廣敏雄『雲岡日記』から

2018年7月14日(土) 13:00-17:00

場所: 京都大学人文研本館 共通1講義室

主催 | 京都大学人文科学研究所 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
お問合せ | 京都大学人文科学研究所 総務掛 TEL: 075-753-6902(平日9:00~17:00)
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>
メールアドレス: z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp

予約不要
聴講無料

名作再読

—いま読んだらこんなに面白い

12

京都大学人文科学研究所では、来たる7月14日(土)、恒例の夏期講座「名作再読」を開催いたします。今回は、ミステリー作家アガサ・クリスティの諸作品、江戸時代京都の俳人松江重頼の俳諧論、東洋美術史研究者長廣敏雄の中国仏教石窟調査日記、と多彩な著作を取り上げ、その魅力をお伝えいたします。夏の午後、みなさまと読書の喜びを分かち合いたいと存じます。ご来場、心よりお待ちしております。



宮 紀子 (みや・のりこ)

京都大学人文科学研究所助教

専門: モンゴル時代史

主著: 『モンゴル時代の出版文化』(名古屋大学出版会 2006年)

『モンゴル帝国が生んだ世界図』(日本経済新聞出版社 2007年)

『モンゴル時代の「知」の東西(上)(下)』(名古屋大学出版会 2018年)



籠谷直人 (かごたに・なおと)

京都大学人文科学研究所教授

専門: 経済史

主著: 『アジア国際通商秩序と近代日本』(名古屋大学出版会 2000年)



岡村秀典 (おかむら・ひでのり)

京都大学人文科学研究所教授

専門: 中国考古学

主著: 『雲岡石窟の考古学 游牧国家の巨石仏をさぐる』(臨川書店 2017年)

『鏡が語る古代史』(岩波新書 2017年)

予告

●シンポジウム

日本・ルーマニア・ドイツ・中国における 社会主義と文化交流のネットワーク： 文学、演劇、映画

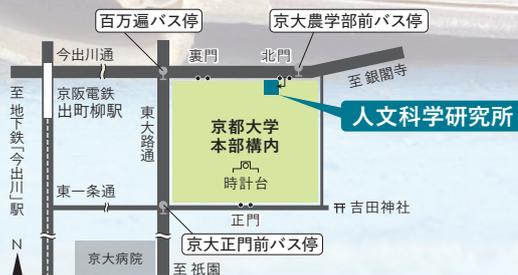
報告 | 田村容子 / ヤコブ・ヴィヴィアナ / 和田崇

コメント | 石川禎浩 / 尹芷汐

司会 | バシユカ・ロマン / ホルカ・イリナ

日時 | 2018年7月21日(土) 13:30~18:00

場所 | 人文研本館 セミナー室1



●京阪電鉄「出町柳駅」下車徒歩15分

●市バス 3・31・65・201・206系統「百万遍」下車徒歩4分 / 17・203系統「京大農学部前」下車徒歩1分
いずれも京都大学北門入ってすぐ右 ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい